宮川水系　与八郎谷川　洪水浸水想定区域図（計画規模）

１　説明文

（１）この図は、宮川水系与八郎谷川について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（２）この洪水浸水想定区域図は、公表時点の与八郎谷川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率１/１００（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１/１００（１．０％））の降雨に伴う洪水により与八郎谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（３）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

２　基本事項等

（１）作成主体　：三重県
（２）公表年月日：令和４年７月２６日
（３）公表の根拠法令　：水防法（昭和２４年法律第１９３号）第１４条第２項
（４）対象となる河川
　・宮川水系与八郎谷川
　　検討対象区間　左岸：三重県多気郡大台町大杉字堂倉谷から宮川合流点まで
　　　　　　　　　右岸：三重県多気郡大台町大杉字堂倉谷から宮川合流点まで
（５）公表の前提となる降雨　：宮川流域の１２時間の総雨量３８１mm
（６）関係市町　：大台町
（７）その他計算条件等
　①この図は、与八郎谷川の三重県管理区間において破堤等が起きた場合の洪水浸水想定区域を図示しています。
　②この図は、与八郎谷川において、一定の条件で破堤等をさせたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。破堤地点は、三重県管理区間の０．０kmから１．１km地点において想定したものです。
　③氾濫計算は、対象区域をおよそ５m格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として計算しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。
　④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

洪水浸水想定区域（計画規模）の該当なし

N
広域図
大台町
25　0　25　50　75　100　125　150　175　200m
1：2,500

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 🟪 10.0～20.0m未満の区域
- 🟥 5.0～10.0m未満の区域
- 🟥 3.0～5.0m未満の区域
- 🟧 1.0～3.0m未満の区域
- 🟧 0.5～1.0m未満の区域
- 🟨 0.3～0.5m未満の区域
- 🟨 0.3m未満の区域
- ▬ 市町村境界
- ▬ 河川等範囲
- 🟦 浸水想定区域の指定の対象となる河川

この地図は三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2017三重県共有デジタル地図　（数値地形図縮図 10,000）」を使用し、調製したものである。（承認番号　三総合地第102号）
本成果を複製あるいは使用して地図を調製する場合は、同組合の承認を必要とする。